

北総育成園における新型コロナウイルス集団感染の発生に係る対応について【ご報告とお願い】

会員事業所の皆様におかれましては、本会活動へのご理解ご協力ならびに日々の利用者支援にご尽力をいただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が著しく、事業所におかれましても日々ご対応に配慮されていることと存じますが、3月28日（土）、本会会員施設である北総育成園（千葉県香取郡東庄町、障害者支援施設：定員75名、現入所者70名）において、新型コロナウイルスの集団感染が発生しました。北総育成園は、船橋市の指定管理施設で社会福祉法人さざんか会が運営しており、利用者、職員を含め、現時点で95名の感染が確認されています。

陽性反応が出た利用者については、県の方針により、原則として施設内で治療と支援が行われていますが、入院が必要と診断された8名については医療機関で入院治療を受けているとのことです。現在は感染症指定医療機関の国保旭中央病院より感染症の専門医1名と看護師2名が施設に派遣され、さざんか会では、法人内の他事業所より職員を派遣し、陽性反応が出た利用者については施設内で隔離したうえで必要な治療・支援が提供されています。船橋市からは、感染防止に必要なゴーグル、ガウン等が届けられたとのことです。

本会では本件発覚の当初より千葉県知的障害者福祉協会や厚生労働省との情報共有に努めており、千葉県知的障害者福祉協会においては、食料品（弁当等）や衛生用品等の提供などの支援を行っています。

こうした障害者支援施設における大規模な集団感染事例の発生を受け、厚生労働省からは、改めて障害者支援施設における感染拡大防止の徹底と発生時の対応等についての通知が発出されています。

会員事業所の皆様におかれましては、未だ先行きが見えない新型コロナウイルスへの対応等に不安を抱える中で精いっぱい利用者支援を提供されていることと存じますが、入所者並びに職員、来客、出入り業者等の検温や手洗い、消毒の徹底等、今以上に感染拡大防止の取組の徹底をお願い申し上げます。

令和2年4月1日

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
会 長 井 上 博